

令和5年11月27日

第2回学校運営協議会を開催しました

10月23日(月)に令和5年度の第2回学校運営協議会を開催し、学校課題について話し合いました。

出席者

三野谷地区区長会長 栄寿クラブ会長 三野谷地区青少対会長 民生児童委員代表
主任児童委員代表 読み聞かせボランティア代表 三野谷公民館長 館林特別支援学校長
第三中学校長 第七小学校長 第七小学校教頭
第七小学校教務主任 CSディレクター



学校運営協議会の内容

- (1) 授業参観
- (2) 報告「第1回学校評価の結果について」
- (3) 熟議「学校課題について」

熟議で出た意見

「PTA会員数の減少で、PTA活動の運営が難しくなっていること」

- 令和3年度にPTAバザーを廃止し、令和4年度にPTA広報誌を廃止した。登校時の旗振り、運動会や持久走大会の係も難しくなっている。
- いろいろな活動をなくそうという意見もあるが、必要なものは続けていく。
- PTA活動に参加してくれる保護者が少なくなっているが、学校だけでは進めていくことができないこともあるので、PTAの協力が必要。
- 新規のPTA会員が増えないので、地域の協力が必要。地域でできることは、地域にらせていくようにする。

「学校の様々な活動を維持するためのボランティアが不足していること」

- 現在、安全見守り隊、読み聞かせボランティア、花壇ボランティア、1年生の学習支援ボランティアがいる。今後、さらにボランティアを募り、地域の方に協力してもらいながら学校運営をしていきたい。
- ボランティアの中には、自分の子どもが卒業してしまうとやめてしまう人もいる。地域の人が入ってくれるといい。
- 活動に参加している人の高齢化で人数が減っている。次の世代を育てていかなければならないが、それがなかなか進まない。
- ボランティアをしてみたいと思っても、最初の一步が踏み出せないでいる人もいる。誘ってくれる人がいれば参加できるのかも。

「下校時の保護者による迎えが増えていること」

- 学童クラブや親の迎えで、歩いて帰る子どもがほとんどいないため、集団下校が難しくなっている。安全見守り隊が立っていても、通る子どもがほとんどいない。
- 歩いて登下校することで体力向上や友達との関係作り、安全教育など、日常生活に必要な知識を得たり体験をしたりすることができるので、なるべく徒歩で登下校するようお願いしていく。